

文化祭でのSS探究部発表

“KNOW NOW 探究！”報告

◇期 日:令和3年10月27日(水) 10:15~11:30

◇場 所:本校人文社会教室

◇発表者:実習・研修・大会等参加生徒代表

10月27日(水)に行われた文化祭で“KNOW NOW 探究！”と題して、今年実施された探究活動の発表を行った。

1年生探究係は県内企業施設研修で、樹田酒造店やイタイタイ病資料館、スギノマシン、エコラボとやまを訪問したことを報告した。小学校、中学校のときの訪問とは違った、高校生ならではの視点から新しい発見が多く得られたようだ。また、観察力と分析力の向上を目的とした立山自然観察実習の報告では、立山の植生についての調査の説明があった。それぞれの植物の生存戦略の分析を通して、「ミヤマキンバイは養分が行き届き、からだが崩れない高さに成長したのではないか」、「タカネキナガは群生することで昆虫に受粉させやすくしているのではないか」といった考察の報告から、実習が大変実りあるものであったことが感じられた。

2年生の富山大学薬学実習の報告では、夏休みに3日間にわたり行われた実験の様子や講義について説明があった。治療薬の合成実験では、普通の人にとって馴染みのない実験器具や薬品が多く使用されており、参加者が体験した研究がいかに高度で実践的であったかが分かった。また、3日目の動物実験で、自分たちで作った薬品の効果を確かめたときの、大きな喜びと達成感も伝わってきた。

3年生のSSH全国生徒発表会では、日焼け止めの成分であるケセルチンの研究についてだけでなく、探究活動を行う上で大変だったことについての報告もあった。3年間探究活動を行ってきた先輩に対する質疑応答の時間は、これから深く研究を行う2年生や、研究テーマを考えている1年生にとって、大変貴重なものとなった。

その他、会場内および廊下壁面には、立山自然観察実習をはじめ、各発表に関するポスターを展示し、探究科学科の研究成果を見てもらった。

これらの発表をとおして、普段ともに学校生活を過ごす仲間が、様々なところで機会を見つけ、向上心をもって活動に取り組んでいる様子がわかった。これが刺激となってこれからの学習につなげていこうとする意欲が湧いてくる有意義な機会となった。

各発表には、学年・学科を問わず多くの生徒が聞きに訪れ、盛況を呈するものとなってよかったと感じる。

(27H 竹田記)

